

戦 評 用 紙

試合番号

5

男子・女子 2回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 スカイホール豊田A コート

<p>浦添</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>	<p>36</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>17 — 16</p> <p>19 — 13</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> </div>	<p>29</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<p>愛知</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>
7mTC				

2回戦進出を果たした浦添と地元愛知の一戦。

高さのある2番山田を中心に攻めを展開する愛知に対して、浦添はセンターライン付近

まで押し上げるような高いDFで対抗した。浦添は果敢にシュートを狙うが、序盤

決め手に欠けた。また、愛知のDFと速攻が上手く機能し、8番大畑を中心に得点を重ね、

前半16分には愛知が5点のリードを作った。

差を広げたくない浦添はより積極的なDFをみせ、カットやサイドシュートで

5連取すると1点差の17-16、逆転して前半を終えた。後半開始早々、愛知は

勢いを増して攻めを展開。逆転からリードを作ると思われたが、浦添GK羽地が好セーブを

連発。速攻につなげ、愛知を引き離した。そして浦添7番西原のシュートがよく決まり

一層チームに勢いを与えた。結果は29-36、浦添が大きなリードを作り勝利した。